

平成26年度 第4回金沢市入札制度評価委員会の審議概要

開催日及び場所	平成27年2月26日(木) 金沢市役所 第1委員会室		
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 坂井 美紀夫(弁護士) 委員 後藤 正美(金沢工業大学教授) 委員 米田 満(公認会計士) 委員 松本 樹典(金沢大学教授) 委員 舟橋 秀明(金沢大学准教授)		
次第	1 開会 2 審議案件 (1) 工事等に係る入札・契約手続きの運用状況等 ア 平成26年4月1日から平成27年1月31日までに係る本市発注工事及び工事関連委託業務の結果について イ 入札参加資格停止の運用状況及び談合情報への対応状況について (2) 制度の見直しその他 (3) 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について (平成26年10月1日から平成26年12月31日) 3 閉会		
抽出案件	5件		
工事	制約付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度 若松配水池(1号池)耐震補強工事 平成26年度 牧町第3マンホールポンプ場機械電気設備設置工事
	随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> 港エネルギーセンター温水式設備改良工事
委託	制約付き一般競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> 金沢市立泉小学校及び泉中学校建設工事(建築工事)実施設計業務委託
	指名競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域活性化拠点施設(三谷地区)設計業務委託
審議内容	別紙のとおり		
委員会による報告又は意見の具申	平成26年度第3四半期の発注工事等に係る入札・契約手続きの運用については、適正に行われていると判断する。		

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号
 金沢市総務局監理課 工事契約グループ
 電話:076-220-2101

委員からの意見は、概ね次のとおりであった。

今年度は大型工事を初めとして例年以上に多くの工事が発注されているが、国の労務単価の改正を受け、速やかに新労務単価を採用するなど、様々な入札不調対策を講じてきたことから、入札は概ね順調に執行されており、現行の入札契約制度は適正であると考えられる。

次年度に向けて、直ちに改善すべき点はないが、引き続き、現行制度の検証を続けるとともに、国・県や他都市の動向を注視し、より透明性、公平性の高い入札契約制度の確立と適正な履行確保のため、不断の見直しに取り組むことが望まれる。

- 1 複数落札制限については、受注の偏り解消に効果があることから、現行どおりとする。また、最低制限価格のまらめについても、くじ引きが増加しているが、積算能力を有し受注意欲のある事業者による適正な競争の結果であり、偏りの解消にも効果が見られることから、現行どおりとすることが望ましい。
- 2 これまでの様々な入札不調対策には、一定の効果が見られることから引き続き適宜適切な対応に努めてほしい。
なお、予定価格の積算方法見直しについては、今後の不調の状況や県や他都市の動向を見ながら、引き続き検討課題とすることが適当である。
- 3 総合評価方式については、国の新方式には課題が見られることから、今後の国の制度検証を見守るとともに県や他都市の状況も見ながら検討を続けてほしい。
- 4 下請け業者に対する社会保険未加入者対策は、施工体制台帳の提出対象が全工事になることから、まずは適切な指導に努めてほしい。なお、県や他都市の動向にも注意を払われたい。
- 5 予定価格の事前公表は、不正行為防止に有効な施策であり、本市の過去の経緯を踏まえると現行どおりとすることが適当であるが、落札率の推移には注意を払ってほしい。
- 6 入札方法については、これまでどおり、透明性、公平性の高い一般競争入札を原則とすることが適当である。

工事及び委託業務の業者選考等が適正に行われていたことを確認した。

意見の詳細は、次のとおり。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p>1 制度の見直しその他</p> <p>○ 入札不調対策について、国の対策例があったが、この対策についてはどのように考えているか。</p> <p>○ 国の総合評価方式の施工計画の評価とはどのようなものか。また、市の総合評価方式の見直しの状況はどうか。</p> <p>○ 技術者不足対策について、技術者等の兼務が技術者の能力を超えるような過度の負担にならないか。また、配置できる技術者の年齢に制限はあるか。</p> <p>○ 制度の改正について、県や他の都市の事情を判断材料にするというのは大事な要素の一つであるが、金沢市特有の事情があれば、他都市に先駆けた先進的な改正を検討してみてもよいのではないか。</p> <p>○ 下請業者の社会保険の未加入対策では、国のように制裁金を課すと生活への影響が大きいと思われるがどう考えるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他都市についても導入事例が少ないことや課題もあると考えており、今後の状況に注視したい。 ・ 施工計画は確実に施工可能で適切なものかを可、不可で評価している。これを含め、国の現行制度には課題もあるようで、現在も内容を検証中である。国の検証結果を注視していきたいと考えており、次年度については、現行のとおりとしたい。 ・ 現場代理人の兼務は3件まで、現場間の移動は30分以内など、兼務が過度な負担にならないように条件がある。また、配置できる技術者の年齢制限ない。 ・ 今後の研究課題としたい。 ・ 国と市町村では、下請業者の規模が異なるため、現時点で制裁金を課するのは難しいと考えている。未加入者には現行どおり指導を行い、今後も加入状況を見ながら対応していきたい。
<p>2 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について</p> <p>平成26年度 若松配水池（1号池）耐震補強工事</p> <p>○ 大型工事だが、参加者が少ない理由は何か。</p> <p>平成26年度 牧町第3マンホールポンプ場機械電気設備設置工事</p> <p>○ かなり低い価格で入札しているが、簡易な内容の工事か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ この時期は経済対策などで非常に多くの公共工事が発注され、技術者が不足していた。また落札制限の対象工事であったためと考えている。 ・ 近年始めた工事で、実績のある事業者にとっては、やや簡易であるが、初めての事業者にとっては難しい部分があると思われる。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p>港エネルギーセンター温水式設備改良工事</p> <p>○ 随意契約とする理由及び落札率が高い理由は何か。</p> <p>○ 本工事の随意契約に問題があるとは思わないが、今後、特殊な施設であることを理由に随意契約するものが増えることについては懸念がある。</p>	<p>・ 既設設備の主要部分についての改造であり、ハードウェア及びソフトウェアともに開発・施工者独自のノウハウが必要不可欠であるため、随意契約とした。また、製品の見積をメーカー側から取らざるを得ないため、落札率が高くなったと考えている。</p>
<p>金沢市立泉小学校及び泉中学校建設工事（建築工事）実施設計業務委託</p> <p>○ 保有しているデータを有効活用し、結果として入札価格が低くなる分にはよい。</p> <p>○ 小学校等には少しでも木を使った伝統技術を取り入れ、金沢らしい教育施設とするのがよい。</p>	
<p>中山間地域活性化拠点施設（三谷地区）設計業務委託</p> <p>○ 基本設計の情報を共有すれば、次の設計業務では平等な競争入札になるのではないか。</p> <p>○ 落札率が低く、落札者と他社の入札に差があるが、最低制限価格の算出についてはどうか。</p>	<p>・ 基本設計の報告書は受注者に貸与される。落札者は基本設計を行った業者であるが、金額の差については報告書の情報よりも、その際に自社で作成したデータ等を活用できることによるものと推察される。</p> <p>・ 最低制限価格の算出方法は国や県の制度に準拠している。本案件も基準通りに算出している。本案件の状況のみでは判断出来ないため、今後も全体の入札状況を注視していく。</p>